

みんなの夢の**第一歩**を応援！

スモールスタート支援事業



実施報告書

この冊子は「2023年度こおりやま広域圏スモールスタート支援事業」に採択されたプロジェクトの概要と成果を紹介するストーリーブックです。誰もが地域をよくするチャレンジの主演になれることを実感できるプロジェクトをぜひご覧ください。

★スモスタ！って何だろう？

住民、地域団体、企業等の提案による先駆的かつ実験的プロジェクトを、セクターを越えた伴走者たちが連携して支援。福島県をリードする新たな地域活性化の取り組みです。

どんな未来も始まりは勇気ある小さな一歩。
私たちと一緒に最初の一歩を踏み出してみませんか？
だれかの「始めたい！」をみんなが応援できる地域づくりを「スモスタ！」から始めます！



「こおりやま広域圏」は、連携中枢都市圏の制度により次の17市町村で形成されています。

郡山市、須賀川市、二本松市、田村市、本宮市、大玉村、鏡石町、天栄村、磐梯町、猪苗代町、石川町、玉川村、平田村、浅川町、古殿町、三春町、小野町

★どんなプロジェクトが対象になったの？

対象者は「こおりやま広域圏」17市町村に関わる住民、団体、企業等すべての方が対象になります。ゼロからのチャレンジのほか、課題や悩みがあって次のステップに進めない取り組みも対象です。下記のようなテーマのプロジェクトを募集しました。

I. 産業分野

- ・地場産業に着目したコミュニティ活性化や継承者の育成
- ・使われていない資産（土地や部屋、モノや時間etc...）のシェア、利活用
- ・地域企業の魅力向上、働き方改革の推進など

II. 交流・観光分野

- ・地域の伝統行事による観光交流促進
- ・都市部などとの交流、関係人口の拡大、移住定住の促進など

III. 子育て・教育・生涯学習分野

- ・子育て支援、継続就労のための支援
- ・プログラミング教育などへの対応など

IV. 保健・福祉分野

- ・一人暮らし世帯などの見守り、買物支援
- ・高齢者などが社会で活躍できる仕組みづくり
- ・ダイバーシティ（多文化共生社会）の推進
- ・生活困窮の予防、自立のための仕組みづくりなど

V. 交通・土地利用分野

- ・空き地・空き家・遊休地などを利用した地域活性化
- ・過疎地域を支える新しい流通サービス
- ・広域的な交通課題の解決など

★どんな支援をしたの？

想いをかたちにするための総合的な支援を伴走型で行いました。また、そのためにかかる経費を支援しました。

プロジェクト推進の伴走型支援

- ・ 事業計画づくり、現金や資源の調達に関するコンサルティング、研修の提供
- ・ ニーズや市場の調査、類似の取組の視察、情報収集、広報や情報発信等のスキル習得
- ・ 会議、打ち合わせ、作業ための場所または設備・機材の使用



左の内容を実施するための経費支援

- ・ 助言者への謝金
- ・ 受託外注費
- ・ 広告宣伝費
- ・ 郵券代
- ・ 物品購入費
- ・ 会場や設備・機材の使用料など
(**限度額は10万円です**)

採択者一覧

★スタートダッシュコース 11件

- でこぼこのつながりがハッピーなジグソーパズルを完成させるピースになる！
橋本 奈美恵 さん
- 精神障害（発達障害）の当事者研究
熊田 芳江 さん
- みんなが豊かな時間を過ごせるギャラリーを作ろう
有川 陽子 さん
- あなたのまちの”自主防災組織”サポート事業
久保田 彩乃 さん
- 顔の見える習い事送迎
草野 義幸 さん
- WAGURI
長谷川 達人 さん
- 高齢者の“生きるを彩る”共創プロジェクト
高橋 慶香 さん
- こおりやま広域圏の農家の想いを届けるプロジェクト
篠原 祐太郎 さん
- 湖南畑ラボ
菅原 由騎 さん
- 猪苗代高校・旧部室リノベーションプロジェクト
小林 竜也 さん
- 湖南町新名物開発プロジェクト
古川 公望 さん

でこぼこのつながりがハッピーなジグゾーパズルを完成させるビーズになる！

あぶくまレインボウ陸上クラブ

橋本 奈美恵 さん(担当メンター：下方聖司氏 (DXディレクター))

郡山市

プロジェクト概要

障がいの有無に関わらず誰でもがフラットに参加できる陸上クラブで、子どもたちと共に楽しめる農園を始められました。実際に子どもたちが作った農作物を元に、農家や企業とコラボレーションを行い、商品開発を実施しました。県内外のマルシェイベントで商品を販売し、より多くの人々が陸上クラブのことを知ってもらい、活動の応援者および一緒に活動に参加して交流してくれる人を増やすことを目指しました。

取り組み内容

福島の農家さんと共に、きゅうりのピクルスの商品開発を行いました。また、県内外のマルシェイベントに参加して、商品販売と陸上クラブのPRを実施しました。マルシェイベントの参加に際して、開発した商品をPRするためのウェブサイトを作成し、幅広くPRに努めました。



みんなが豊かな時間を過ごせるギャラリーを作ろう

アート・プロジェクト「テノヒラ」

有川 陽子 さん（担当メンター：桃生和成氏（一般社団法人Granny Rideto 代表理事） 郡山市

プロジェクト概要

郡山市内で、軒並み、ギャラリーが閉鎖しています。アートを通じて人が集まる場所が減ることに課題を感じていることを肌で感じている。今までは手作り絵本のギャラリーイベントを開催していましたが、こうした課題から自分たちがハード面としてギャラリーを開設・運営していくための準備づくりを行いました。

取り組み内容

メンターの指導の下、自分が作り上げたいギャラリーのイメージ図を作成しました。そのイメージを元に、30人以上の人々にプレゼンを実施し、アドバイスや協力者を増やす活動を行いました。その結果、アートスペースの候補となる空き物件やリノベーションを協力してくれる専門家やギャラリーやスモスタ採択者とのタイアップ企画などの申出が増えました。後は、テノヒラ旗揚げから10年の節目となる2025年の夏にレンタルスペースを借りて、1ヶ月ほどの展示イベントの企画・実施を目指します。



テノヒラ

@tenohira_twit

福島県郡山市を拠点に活動する、アートプロジェクト「テノヒラ」です。手のひら絵本展の企画運営をおもに活動しています。

自 2016年2月からTwitterを利用しています

33 フォロー中 48 フォロワー

アート・プロジェクト「テノヒラ」さんXアカウント

草野 義幸 さん（担当メンター：高橋洋輔氏（行政書士高橋法務事務所 代表）） 郡山市

プロジェクト概要

自分の子育てや保護者と会話する中で、保護者が時間を確保できず、子どもたちの送迎をできないことで、子どもたちの成長機会を奪っていることを日々感じていました。そこで、習い事の送迎を代行することで、子どもたちの成長の機会を増やすと同時に、保護者の負担軽減につながると感じ、実際に送迎代行の事業を実験的に行うことで、本当に必要なサービスなのかを検証しました。

取り組み内容

大槻町にある塾と連携して、送迎の実証実験を行いました。自宅から塾への送迎の他、塾から別の習い事への送迎を実施しました。1日平均3人を2~3時間送迎する業務となります。また、送迎の他、生徒管理のアプリを導入し、利用キャンセル、送迎の完了や社内での子どもとのコミュニケーションを保護者に伝えるなどの管理を合わせて行いました。ニーズも徐々に増え始めてきていますが、一人で請け負うには限界があることを知り、業務委託して関わる人を増やす仕組みづくりの必要性も感じています。また、スモスタ採択者との送迎連携に関する打診もあり、何でも屋的な役割にも可能性が広がりつつあります。



株式会社Roots

長谷川 達人 さん（担当メンター：黒田敦史氏（ビジネスゲートウェイ株式会社 取締役）） 郡山市

プロジェクト概要

2020年に猪苗代町の基幹産業である観光業・農業の再生の柱となる取り組みを目指し、廃校活用や猪苗代湖上戸浜の遊休施設と浜の一部を活用し、アウトドアレジャー施設を立ち上げてきました。一定の手ごたえを感じていましたが、猪苗代町と郡山市の垣根のない連携を図るため、一次産業である農業へ参入することを決意しました。郡山広域圏に存在しておらず、他の果樹に比べ栽培が比較的容易であること、付加価値を高めやすいなどの理由から和栗の栽培を考えています。スモスタでは、生産・加工・ブランディングについて、先進地の視察やメンターとの事業計画づくりを行いました。

取り組み内容

「和栗を世界のグルメシーンへ」というコンセプトを持ち、プロジェクト名をWAGURIとして活動しました。栽培に先駆けて、1000㎡の農地契約、加えて笠間栗普及センターへ栗栽培のノウハウをヒアリング、日本調理師専門学校を通して笠間市のステイクホルダーの紹介を受けて勉強することを経て、栗農家の認定新規就農者になる為の申請を開始しました。その後も静岡県掛川市での栗フォーラムに参加し、販路開拓と栗栽培の勉強に臨んでいます。そのフォーラムで屋号を決めることの提案を受け、“WEST WOOD FARM”と命名し事業計画に基づき、2040年までに栗産業で総生産1億円達成を目指します。



視察・参加した静岡県掛川市の栗フォーラムの様子

高橋 慶香 さん（担当メンター：三部香奈氏（一般社団法人グロウイングクラウド 代表理事））

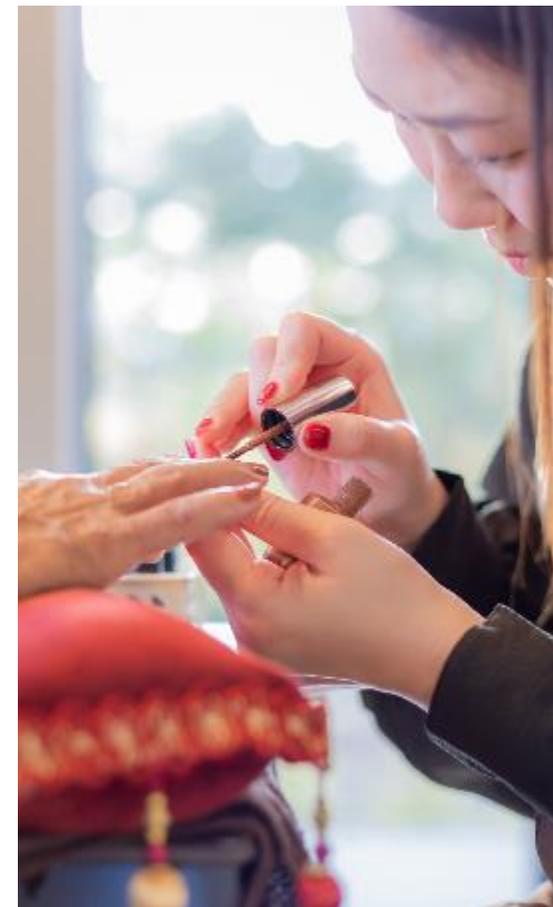
郡山市

プロジェクト概要

医療や福祉の現場に身を置いてきた経験を活かし、高齢者や障がい者向けに訪問型の福祉ネイルに取り組んできました。個人事業主として高齢者や病気、障がいを抱えている方の“生きる”や“最期”に携わり、当事者の社会参加や隠れたニーズを引き出すことを目的としています。暮らしに彩や楽しみを持つきっかけをつくり、本人や家族が安心して暮らせる、もしくは後悔なく最期を迎えられるようサポートできるよう、訪問型福祉ネイルだけでなく、カメラマンやメイクアップアーティストとコラボレーションをし、思い出づくりできるサービスの実証実験を行いました。

取り組み内容

在宅医療を支える医療専門家たちと訪問美容、カメラマンと連携し、高齢者の方の生きる+α(希望)を叶えることに取り組みました。実施件数は5件であり、「私らしい遺影写真を残したい」、「親子写真を残したい」、「100歳の記念写真を撮りたい」、「初めてのエステ体験をしたい」、「60代の私を残したい」などの希望に応えることができました。今後は、すでにある地域包括ケアシステムの中の専門職たちと連携し、ネイルサービスを通じて、誰もが最期まで“その人らしく”生きることのできる地域を創ることを目標とします。



こおりやま広域圏の農家の想いを届けるプロジェクト

株式会社しのや

篠原 祐太郎 さん（担当メンター：坂上英和（特定非営利活動法人コースター））

郡山市

プロジェクト概要

これまで郡山広域圏の農家を含め、県内の農家と直接交流し、福島野菜を提供してきた実績に基づき、県内だけでなく、県外に届けるために、野菜のサブスクリプションサービスを立ち上げました。農家と一緒にSNS(インスタライブ等)を行いながら、インターネットを中心に広報を行い、販路を拡大しつつ、郡山広域圏の農家のファンの増加を行いました。また、料理研究家のインフルエンサーと連携し、サービスの拡大も目指します。

取り組み内容

Instagramで36万人のフォロワーがいるインフルエンサーと連携し、サブスクの商品である野菜を使った料理動画を定期的に投稿しました。その結果、70件のサブスク利用者を増やすことができました。プロモーションとしては効果が挙げられましたが、今後の継続のために、料金価格の再設定やインフルエンサーを利用しなくても、商品の質やコストパフォーマンスを上げられるような事業づくりを考えています。



ネクスン

菅原 由騎 さん

(担当メンター：和田祐樹氏 (特定非営利活動法人ホールアース自然学校 福島校 代表))

郡山市

プロジェクト概要

郡山市内で唯一猪苗代湖に面する湖南町における地域課題に取り組むことにより、猪苗代湖の輝きを取り戻したいと考えています。特に地域の厄介者とされてきた猪苗代湖の『菱』の本体部分の活用がテーマとしています。また、作物の栽培を通じた体験型の観光農園を作ることで、地域に新たな観光コンテンツを生み出し、サステナブルツーリズムとして新たな顧客を呼び込み、地域活性化を目指します。そのために、観光コンテンツとして子ども向けに農業体験や菱の利活用を学ぶことができるプログラムの開発と実験を行いました。

取り組み内容

大学生と地元の農家さんと一緒に、湖南町で10年以上放置されていた農園を開墾しました。また、仙台の高校生30名を受け入れ、猪苗代湖の状況を説明すると同時に、環境教育プログラムを体験してもらいました。その他、メンターやアドバイザーのサポートにより、メンバーの強みを生かした子ども向けの教育プログラムを開発しました。今後は、開発したプログラムを実際に子どもたちに提供するためのデモンストレーションやプログラムの参加を促すために、県内の高校へのアプローチやプロモーションツールの製作をしていきたいと考えています。



開墾開始の様子

猪苗代高校・旧部室リノベーションプロジェクト

はじまりの美術館

小林 竜也 さん

(担当メンター：矢部寛之氏 (東北芸術工科大学コミュニケーションデザイン学科 専任講師))

猪苗代町

プロジェクト概要

猪苗代高校で、美術室や旧音楽室がアートの力により再生された過去があります。その前例に基づき、地域探求活動の一環として、使われなくなった部室をアートスペースとして活用できないかとの提案が生徒たちからあり、アートの可能性を感じた生徒たちが校内で使われていない場所に光を当て、アートや表現の場として、再生していくことを目的としました。また、今後も、生徒が主体的に活動を続けると同時に、猪苗代町の地域住民の人も巻き込んだコミュニティスペースとしての活用を目指します。そのために、生徒のエンパワーメントを行うためのプログラム作りをメンターと共に行いました。

取り組み内容

高校生4人のチーム結成を皮切りに、許可願の作成、先生方への承諾など事前の手続きを踏まえ、旧部室の片付け、清掃、壁の採寸、ペンキ塗りなどを段階に応じて行いました。また、学園祭でアート作品を披露すると同時に、他の生徒から宝物提供協力を募り、『宝物だらけ』および『道をつなげよう』等のコーナーを設けました。また、メンターの協力から大学生が今後生徒の活動のサポートを行うこととなり、学校を超え、地域連携する仕組みづくりの兆しが生まれました。



古川 公望 さん（担当メンター：横山沙織氏（認定NPO法人底上げ））

郡山市

プロジェクト概要

湖南の七浜を舞台に地産地消、関係人口増加、環境保全を目的に、淡水パールを養殖し、採れたパールを七浜にちなんだ7色のパールに加工、猪苗代湖の名産品として全国にPRする仕組みづくりを目指しました。湖南町七浜のトレードマークにするとともに全国のハンドメイド雑貨屋さんへ提供し、湖南町を認知してもらうきっかけを作るために、先進地の視察や淡水パールを使ったワークショップを行いました。

取り組み内容

パールを使ったワークショップへの参加や先進地である琵琶湖の取組の視察を実施しました。視察した結果を元に、オンラインで琵琶湖の雑貨作家と交流しながら、淡水パールを使った小物製作の体験ワークショップを実施しました。今後も、継続的に琵琶湖のプレイヤーと交流をしながら、淡水パールの養殖や淡水パールを活用したワークショップなどのプログラムを充実していきたいと考えています。



スモスタ！こおりやま過去採択者OB・OG交流会の実施

取り組み内容

2018年から実施されてきたスモスタ！こおりやまの過去採択を受けたOB・OGと本年度の採択者との交流会を3回実施しました。この交流会では、スモスタの他、郡山市が実施する「こおりやまSDGs アクセラレータプログラム」、「こおりやまDXプラットフォーム」の採択者との交流も合わせて行い、のべ31名の参加がありました。それぞれの取組の紹介の他、今後の事業計画づくりや事業のブラッシュアップを行うワークショップを実施しました。その結果、事業採択者同士で事業委託や事業連携が行われるなどの効果も挙がっています。

実施日時・会場

2023年11月23日（木・祝）、2月16日（金） Co-ba Koriyama

2024年1月12日（日） 福島コトひらく

参加スモスタOB・OGおよび現役採択者

有川陽子氏（テノヒラ）、荒川トシエ氏、大越雄太氏、横山亜紀子氏（美肌エステ&スクール Pure Lucra）、菅原由騎氏（NEXSUN）、古川公美氏、野呂華子氏（一般社団法人ケルビムのかげ）長友広夢氏（株式会社いなびし）、満井みさ子氏（ハーベストカフェ）、草野義之氏、長谷川達人氏（WAGURI）、熊田芳江氏（一般社団法人空）、紺野陽菜氏（Spread From Fukushima）

